

令和元年度 学校努力点について

1 名古屋市学校教育努力目標

なかまと学び 夢を創る

- 子どもを取り巻く社会は大きく変わりつつあり、学校や学びのあり方に大きな変革が求められている。その情勢に対応するために、これまでの画一的な一斉授業からの転換を進める授業改善に取り組む。授業改善を通して、子どもの主体的な学びを進めるとともに、すべてのなかまとの対話的な学びを一層進め、深い学びの実現を目指す。
- 変わりゆく社会の中で、子どもたちが未来に夢や希望をもち、いきいきと活躍し続けることができるよう、全力で応援していかなければならない。子どもがキャリア教育を含む多様な学びを通して自分のよさに気づき、自他を大切にしてくれ、たくましく生きることができるようになるとともに、夢の実現に向けて歩むことができるようにする。

2 本校教育目標（校訓）

清 心	強い意志と清らかで素直な心をもつ生徒の育成を図る。
自 学	自ら学ぶ態度の育成を図る。
実 践	丈夫な身体をもち、自ら実践する生徒の育成を図る。

3 本年度の学校努力点とその推進計画

(1) 本年度の学校努力点テーマ

認め高め合う力、通い合う心

—対話を重視した学びの場を工夫して—

(2) テーマ設定の理由

この3年間、「人間関係能力の育成」、「自己肯定感・自己有用感の育成」、**「対話を重視した主体的に学ぶ力の育成」**を土台にして、学習活動やあいさつ活動、掃除活動などを行うことができる生徒の育成を目指した。各指導部会で目標とする生徒の姿を決め、それぞれの各指導部会で手だてを講じて、実践を行った。その結果、約85%以上の教員が「手立ては有効に機能している」「目標とする生徒に近づけることができた」といった回答を得ることができた。また、保護者のほとんどの方からも「学校は努力点に関わる指導の工夫を適切にしている」といった回答を得ることができた。

しかし、学習面では「仲間の考えを知ることはできたが、その良さを知る」、生活面では「あいさつや返事の声が小さく、元気がない」、特別活動面では「仲間の考えから課題を見付ける」、健康安全面では「仲間ことを考え、安全に配慮して行動する安全意識」といった点に課題があると考える。また、本校の喫緊の課題である、不登校生徒対策もより具体的に考えなければならない。**このような実態を踏まえて、来年度も学級活動や教科授業で互いに関心をもったり、コミュニケーションをもったりする学びの場を数多く設けることで、対話力の育成を目指したいと考えた。**

そこで今年度の到達目標を、「認め高め合う力、通い合う心—対話を重視した学びの場の工夫—」を掲げることとした。「認め高め合う力」を育てることで互いの心が通い合い、学習や行事への取り組み、あいさつ活動や掃除活動などから対話を通して心を磨く。つまり、互いにいろいろなことに気づき、認め合い、高め合うことができる力や心を育てていくことを目指す。このような活動を通して、自分や仲間を大切にしていくことのできる生徒が育ち、その事が笑顔で学校生活を送り、夢に向かって主体的に、また、互いに協力し歩んでいける生徒を育てることにつながっていくと考えた。

(3) 互いの心が通い合う、対話力の育成のために

対話力とは、「互いを理解するために、本音と本音の話し合いをすることであり、信頼関係を築く為のコミュニケーションである。」(※会話とは、日常で話す取り留めのない話であり、信頼関係がなくても取れるコミュニケーションである。)

互いに譲ることなく自分の「正しい」を主張すれば、永遠にお互いを理解することはできないと考える。しかし、どちらかが折れてしまえば、それは納得の行かないまま相手に従うことになってしまうことになる。つまり、対話とは「勝者」と「敗者」を決めることが目的ではなくて、お互いの「本当の言い分」を聴いて、相手側からの「正しい」を理解することだと考える。また、対話とは聴き合いと伝え合いの確認作業だと考える。

そこで、以下の活動による力の育成が必要であると考えます。

- ① コミュニケーションの機会をもたせる活動。(コミュニケーション能力)
- ② 学級経営の強化から人間関係能力を育成する活動。(人間関係能力)
- ③ 共感的に理解する活動。(他者理解能力)
- ④ 自分の考えや気持ちを相手に表現する活動。(自己表現能力)
- ⑤ 仲間との協働の中で、問題解決能力を育成する活動。(問題解決能力)

(4) 本年度の重点的な取り組み

昨年度までの課題を踏まえ、こころの醸成のため、道徳教育と地域との連携に目を向けた取り組みを通して、いろいろなことに気付く目線を育てていこうと考えたい。

① 道徳教育、道徳科の授業の充実について

特別な教科道徳になったこともあり、今年度は新学習指導要領(2021年度完全実施)に沿った道徳の授業の充実化を図る。(昨年度までにとりためた共有ホルダーshareの指導案や学習プリント等も活かす。)また、授業は担任のみならず、場合によってはSCとのコラボ授業も考える。特に今年度は現職教育において、中堅・若手教員の模擬授業(授業は録画する等)から授業改善も考えたい。また、指導主事を招き、道徳科の授業の考察も考えていきたい。

<展開例>「なかまなビジョン」を踏まえる。

【教材・課題】：一人ひとりが学習の見通しと自分の考えをもつ。

【交流活動】：ホワイトボードを使い、対話を通して共感や対立が生まれる。
互いが納得する考えを模索する。共感する部分を取り入れる。
考えが変わる。

【相互評価】：対話を通して互いのよさを認め高め合い、心が通い合う。

↓ 結果、仲間への関心が高まることにつながる。

【自己評価】：自分の考えを見直し、主体的に学びを深める。

★ ホワイトボード、イレーザー、三色ペンを(各クラス6)購入済み。

② 地域との連携について

学校評議委員並びにPTA役員、保護者の意見・提言をもとに、家庭や地域社会の相互理解・連携を推進し、地域に根ざした開かれた学校づくりを推進する。そのために、PTA新聞・学年通信・学級だより・保健だより・ホームページ等の広報活動を充実し、実践の具体的内容について情宣活動を行い、学校・家庭・地域社会等の連携を図る。なお、本年度も学習指導部・生徒指導部・特別活動指導部・健康安全指導部の4部会を中心に推進していく。また、この推進は、学校だけで行うのではなく、家庭や地域などの連携も視野に入れて進めていきたい。

(5) 各部会における育てたい資質や能力、態度

① 学習指導部 (※名古屋市教育課程より)

- 各教科の授業を通して、生徒の学習意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。

② 特別活動指導部 (※名古屋市教育課程より)

- 学校・学年行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育成する。

③ 生徒指導部

- 学校生活全般を通して、礼儀正しさや時間などの基本的な生活習慣、集団生活のルールやマナーなどを身に付けさせるとともに、自主的に判断し、行動することができる健全な生活態度を育成する。

④ 健康安全指導部

- 望ましい生活習慣を身に付けさせ、健康・安全で活力のある生活を送ろうとする態度を育成する。

(6) 学校努力点を達成するための各部会の役割 (例)

担当部会	目標	目標とする生徒の姿
学習指導部	認め高め合う力、通い合う心 一対話を重視した学びの場を工夫してー	自分の考えを発表し合うことで、他者の考えの良さに気づき、心が通い合う生徒
特別活動指導部		自分が仲間と積極的に関わることで、互いに認め高め合い、心が通い合う生徒
生徒指導部		あいさつの意義を理解し、自主的にあいさつすることで、互いに心が通い合う生徒
健康安全指導部		自分のことだけでなく、一歩進んで人のためになる行動をすることで心が通い合う生徒

(7) 推進計画

- ① 企画委員会・職員会議で到達目標を確認する。
- ② 各部会で、生徒にどんな姿が見られたらよいとするのか、目標とする生徒の具体的な姿を決める。
- ③ 各部会で、目標とする生徒の具体的な姿を達成するための手だてを決定する。

※手立てを考える際には、全体で共通したものとするのか、各教科や学級担任ごとの手だてとするのかを決める。

(例)

- 全体で共通した手だて

担当部会	目標とする生徒の姿	手だて
学習指導部	話し合い活動を通して、互いに認め高め合う力が育ち、互いに心が通い合う生徒	机をU字型にした学習隊形の授業

(例)

- 教科ごとの手だて

担当部会	目標とする生徒の姿	手だて
学習指導部	話し合い活動を通して、互いに良い点や改善点を出し合うことで、認め高め合う力が育つ生徒	(国語) 机付ボードを使った小グループの話し合い活動

- ④ 各部会で、生徒や保護者、職員、地域の人に実施するアンケートの質問内容を決定する。

※ アンケートの質問内容は、目標とする生徒の姿が達成されたか、手だ

(例) てが有効であったかを検証するためのものとする。

担当部会	目標とする生徒の姿	手だて	アンケートの質問内容
生徒指導部	相手の身になってあ いさつできる生徒	日頃の声掛け	相手が気持ちよくなるあ いさつをすることができたか。

- ⑤ 実践を行う。

- ⑥ 修正を行う。

- ⑦ アンケート結果や学校評価を基に検証し、課題を明らかにした上で来年度の方向性を決める。

【平成31年度予定】

4月1日(月)企画委員会・職員会議	目標の検討
4月3日(水)努力点各部会	目標生徒・手だての検討
4月18日(木)努力点推進委員会	各部会の目標生徒・手だての共通理解
5月下旬頃 努力点各部会	前期実践に向けて検討
5月23日(木)職員会議	前期実践に向けて共通理解
10月10日(木)企画委員会	前期実践報告と後期実践に向けて
2月3日(月)努力点各部会	後期実践報告と本年度のまとめ
3月5日(木)職員会議	本年度のまとめと次年度に向けて検討

- (8) 保護者や地域に向けて

- 努力点テーマ説明 4月15日(月) 学校集会：生徒向け
4月19日(金) PTA総会：保護者向け

- 努力点テーマを踏まえた学校開放日(学期に1回)
・・・記述式アンケート実施

- 努力点テーマを踏まえた生徒向けアンケートの実施
(学習面・生活面・特別活動面・健康安全面)
・・・6月、1月の年間2回実施(前後期1回ずつ)

- 努力点テーマを踏まえた学校行事の公開
9月18日(水) 体育大会 アンケート実施
11月7日(木)・8日(金) 文化発表会 アンケート実施

- 学校評価(1月末：生徒・全保護者)アンケート実施

- 学校通信・地域通信の発行(アンケート結果の公開)
9月下旬(体育大会後) アンケート結果公開
12月上旬(文化発表会後) アンケート結果公開
2月中旬(学校評価後) アンケート結果公開
11月、3月中旬(第2、3回学校開放日後) アンケート結果公開